

酒田市図書館情報システム貸借業務  
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和元年5月31日

酒田市図書館情報システムプロポーザル審査会

## 1 募集及び選定

### (1) 募集及び選定の方法

本市が発注する酒田市図書館情報システム賃貸借業務について、公募型プロポーザル方式により事業者を選定するため、学識経験者2名、市職員4名（業務に関連する担当部課長職）の計6名で構成する酒田市図書館情報システムプロポーザル審査会（以下「審査会」という。）を設置しました。

募集にあたっては、酒田市図書館情報システム賃貸借業務公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）を定め、本事業への参加を希望する提案事業者を公募しました。

提案事業者から提出された企画提案書等については、実施要領及び酒田市図書館情報システム賃貸借業務仕様書に基づき、事務局が資格要件の確認を行い、審査会が企画提案書等の内容を審査しました。提案書の内容の審査にあたっては、プレゼンテーション審査及びデモンストレーション審査を実施しました。

なお、公平かつ適正な選定を行うため、提案事業者名は伏せて審査を行いました。

### (2) 募集の経過

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① プロポーザル実施公告  | 平成31年2月22日（金） |
| ② 参加表明書等の提出期限 | 平成31年3月8日（金）  |
| ③ 質問書の提出期限    | 平成31年3月29日（金） |
| ④ 企画提案書等の提出期限 | 平成31年4月19日（金） |

### (3) 審査会

#### ① 審査委員

審査会の構成は、次のとおりです。

（敬称略、委員長・副委員長以外は五十音順）

委員長	阿部 勉	（市企画部長）
副委員長	本間 優子	（市教育委員会教育次長） ※平成31年4月1日付人事異動に伴い前任者菅原司芝からの変更
委員	岩浪 勝彦	（市教育委員会図書館長） ※平成31年4月1日付人事異動に伴い前任者岸谷英雄からの変更
委員	広瀬 雄二	（東北公益文科大学准教授）
委員	本間 義紀	（市企画部情報管理課長） ※平成31年4月1日付人事異動に伴い前任者大石充昭からの変更
委員	渡辺 雄二	（山形県立産業技術短期大学校庄内校教授）

#### ② 審査会の開催経過

審査会は、次のとおり開催しました。

	開催日	議 事
第1回	平成31年 2月8日(金)	(1)「酒田市図書館情報システムプロポーザル実施要領」について ①実施スケジュールの確認 ②実施要領の確認 ③仕様書・様式等の確認 (2)「企画提案評価基準」について ①点数配分の確認 ②評価視点・評価基準・配点加重・得点の確認 (3) その他
第2回	令和元年 5月16日(木)	(1) 提案プレゼンテーション・デモンストレーションについて (2) 企画提案書の事前審査 (3) 機能要件評価の確認 (4) 価格評価の確認 (5) その他
第3回	令和元年 5月28日(火)	(1) 提案プレゼンテーション・デモンストレーション審査 (2) 最優秀提案事業者及び次点者の選定 (3) その他

## 2 選定の結果

### (1) 応募状況

平成31年2月22日に実施要領等を公表し、平成31年4月19日までに企画提案書等を受け付けたところ、3者から応募がありました。

公平かつ適正な選定を行うため、提案事業者名は伏せて審査を行いました。

### (2) 審査項目

#### ① 資格要件の確認

資格要件について、全ての提案事業者が満たしていることを事務局が確認しました。

#### ② 企画提案書等の内容に関する審査

次の項目について、審査会にて企画提案書等の内容の審査及び評価を行いました。

- ア 企画提案評価
- イ 機能要件評価
- ウ 価格評価

### (3) 最優秀提案事業者及び次点者の選定結果

審査会は、応募のあった3者の提案のうち、次のとおり最優秀提案事業者及び次点者を選定しました。

- ① 最優秀提案事業者      キューブワン情報株式会社
  
- ② 次点者                      株式会社日情システムソリューションズ

#### ③ 審査の経過

企画提案評価、機能要件評価及び価格評価の結果に基づき、各委員が総合的に評価を行いました。最終審議にあたっては、各委員が意見や選定理由を表明し、1位評価と2位評価の提案事業者を決定しました。

#### ④ 評価基準と選定方法

各委員の総合評価点で1位評価数が最も多い事業者を、最優秀提案事業者とします。同数の場合は、各委員の総合評価点で2位評価数が多い方の事業者とします。

次点者については、各委員の総合評価点で1位評価数が2番目に多い事業者とします。同数の場合は、総合評価点で2位評価数が多い方の事業者とします。

なお、各委員の審査において、総合評価点が6割（600点）に満たない事業者があった場合は、当該事業者の受託能力に疑問があるとして、当該事業者を委員の選考候補から除外します。

- ア 企画提案評価      (配点：500点)
- イ 機能要件評価      (配点：400点)
- ウ 価格評価              (配点：100点)

各委員の評価の結果、600点に満たない事業者はおらず、キューブワン情報株式会社は1位評価3名、株式会社日情システムソリューションズは1位評価2名、その他の提案者は1位評価1名となりました。

よって、最優秀提案事業者をキューブワン情報株式会社、次点者を株式会社日情システムソリューションズにそれぞれ選定しました。

### (4) 事業応募者別講評

- ① 最優秀提案事業者      キューブワン情報株式会社

価格評価を含めた3つの評価のバランスが最も優れた提案でした。メインシステム及び関連システムのいずれの画面においても視認性が優れており、デモンストレーションにおいては、資料検索スピードや操作性も優れていました。

読書推進の独自提案では、図書館アプリの検討や読書マラソン、オープニングノベルティの提案など、グランドオープンに合わせた新規利用者の拡大につながる効果的な提案が評価されました。

一方で、パソコン機器等の保守内容には工夫の余地があるとの指摘もありました。

企画提案方針においては、本市における読書人口分布を用いて、現在の図書館が抱える課題を分析し、それに対してターゲットを絞った効果的な解決策が提示されていました。全体として導入期毎に求められる事項を整理し、図書館の利用者数を効果的に増やすことにシステムが寄与するという提案が評価されました。

## ② 次点者 株式会社日情システムソリューションズ

企画提案方針においては、酒田コミュニケーションポート（仮称）の位置付けや本市の方針への理解度が高い提案でした。読書推進の独自提案では、AIを駆使した新しい図書館サービスやプログラミング教室の実施など魅力的な提案がなされました。デモンストレーションにおいては、資料検索スピードや操作性が特に優れていました。

一方で、図書館業務の改善支援について、企画提案書に具体的な記載がなかったことから、他の提案と比較して当該評価が低くなったとの意見もありました。また、機能要件評価と価格評価が最優秀提案事業者と差がついた要因になりました。

## ③ その他の提案者

機能詳細要件の評価において、最も優れた提案でした。また、業務マニュアルの改善やホームページ作成支援など、職員を支援する項目が評価されました。

一方で、企画提案方針における、酒田コミュニケーションポート（仮称）の位置付けや本市の方針への理解が不足しているとの指摘がありました。また、デモンストレーションにおける資料検索スピードや操作性が不足しているという評価でした。

読書推進等の独自提案においては、読書通帳機能を地元金融機関との連携により提供するという点は評価されましたが、他の独自提案が提案価格に含まれていれば、より魅力的な提案であったという評価でした。

## (5) 総 評

この度の事業者募集は、入札方式のように単に提案価格で事業者を選定するのではなく、豊富な経験と実績を持つ提案各社から、図書館利用者と職員の双方にとって、より良い図書館情報システム及び読書推進等の提案を募るため、公募型プロポーザル方式としました。

また、駅前再開発の核となるライブラリーセンター（仮称）に対する強い思いと、本市の理念に対する高い理解を持ち合わせた事業者を選定することも、事業者募集を公募型プロポーザル方式とした目的です。

審査では提案各社が評価項目ごとに最優秀評価を受ける形となりました。各社の提案には、様々な工夫やアイデア・ノウハウが盛り込まれており、非常に魅力的なものでありました。

提案各社の皆様におかれましては、限られた時間の中、多大な労力と熱意をかけて魅力的な企画提案にご尽力いただいたこと、また、本審査会の円滑な進行にご協力いただいたことに対しまして、審査委員一同より敬意を表するとともに、深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

令和元年5月31日

酒田市図書館情報システムプロポーザル審査会委員長